

県政報告

翠恒たより

今年の夏は大変な猛暑が続きまし
た。又、集中豪雨による災害も多
く発生いたしました。地球温暖化の影響で
はないかと気になるところです。いずれに
いたしましても環境問題への真剣な対応が
急務であると認識を新たにいたしました。

さて、任期も残すところ半年に
なっております。今期は、
一年目、政務調査会長 二年目、
議会運営委員長 三年目、自民党
県議団団長と三役を無事に勤め上
げることが出来ましたこと、皆様
に感謝する次第です。この間多く
の貴重な経験を重ねることが出来
ております。今後は、これまで以
上に地元において、地に足の着い
た活動を行ってゆきたいと考えて
おります。そのためにも、特に健
康には留意し、いつでも精一杯働
くことが出来るように心がけます。

県議会議員鈴木つねお



高校生が送るメディア番組”湘南web s d a y”
ー10.6.9 藤沢北口駅前スタジオにて

発行：鈴木恒夫事務所
発行責任者：木村哲也
〒251-0871
藤沢市善行2-19-4
TEL 0466-83-2121
FAX 0466-83-2122

藤沢市内「福祉施設視察」―自民党議員有志

藤沢市内に有り
ます、福祉関連
施設を五箇所訪
問いたしました。
①「ひろき
訪問看護ステー
ション」にて第
一線で働いたし
ました。②「藤
沢市民病院
訪問看護ステー
ション」にて現
状を視察した。
③「かがやき
訪問看護ステー
ション」にて現
状を視察した。
④「かがやき
訪問看護ステー
ション」にて現
状を視察した。
⑤「かがやき
訪問看護ステー
ション」にて現
状を視察した。
藤沢市内に有り
ます、福祉関連
施設を五箇所訪
問いたしました。
①「ひろき
訪問看護ステー
ション」にて第
一線で働いたし
ました。②「藤
沢市民病院
訪問看護ステー
ション」にて現
状を視察した。
③「かがやき
訪問看護ステー
ション」にて現
状を視察した。
④「かがやき
訪問看護ステー
ション」にて現
状を視察した。
⑤「かがやき
訪問看護ステー
ション」にて現
状を視察した。

最近の活動から



今夏も夜間海岸パトロールや海岸
清掃に参加しました。
(片瀬海岸東浜 10.8.6)

「神奈川県海水浴場等に関する条例」が
改正になり、本年5月15日より海水浴
場での原則禁煙となりました。喫煙所
の設置や管理について現地調査を行
いました。今のところと件の問題は確
認していません。(片瀬海岸東浜10.8.6)



12年ぶりの薬師如来
御開帳に立会う
10.4.12
羽鳥養命寺にて



訪問看護ステーション「かがやき」にて
施設長との意見交換 10.4.27



遊行ばやし覚えました。
10.7.24 遊行の盆にて



時にはマメな活動も
10.7.24 事務所そば



時には想いふけることも
菖蒲が咲く遊行寺にて10.7.10



園児達の成長を願って
納涼祭(10.7)



神奈川12区支部長選考街頭演説会
10.6.6 藤沢駅南口広場

最近の神奈川県の統計指標から

- *総人口 901万人 (H21.01)
- *平均寿命 男80.03歳・女86.56歳 (H20)
- *老年人口(65歳以上)割合19.2% (H21年)
- *名目県内総生産約32兆円デンマーク・アイルランドと同等 (H19)
- *事業所数約28万9千5年前対比6.6%減 (H18)
- *農業産出額736億H2ピークに下降 (H18)
- *小売業事業所約5万5千5年前比11.4%減 (H19)
- *交通事故件数年間44876件10年前比26%減 (H20)
- *悪性新生物死亡者数年間20575人県内死因1位増加傾向 (H20)

第一回県議会定例会代表質問から

平成20年12月26日に「神奈川県議会基本条例」が公布・施行されました、その理念として県民の代表として県議会と知事はより良い県政実現のため切磋琢磨し真の二元代表制の確立を目指しております。

県議会傍聴のご案内
(鈴木恒夫一般質問を行います)
平成22年9月22日(水)
13時より約50分(30分前集合)
県議会本会議場(県庁新館8階)
(申し込み方法)
鈴木恒夫事務所までご連絡下さい
Tel0466-83-2121 FAX0466-83-2122

議員として本中에서도、議会に大変な衝撃を与えたのは、不や背景を分析し、再発防止に質問する我々が追加調査を求めた結果、新たな不適正ことは最も大切な役割であり、別委員会に「需要費」及び「備品購入費」の第一回定例二費目のみを対象とした18400件、27億4086万円余の不適正経理があったといに続き、第う報告を受けました。しかし、費用を限った三回定例会調査であつたという事に対して我々は大いなで一般質問の疑問を抱き、さらなる調査を強く要求しました。

不適正経理問題 (*1) に対する自民党県議団の取り組み

昨年未だに事件が発覚して以来、我が会派は、一貫して「事件の全容解明なくして有効な再発防止策の構築はもとより、県民の信頼回復はあり得ない」との考えに立ち、県に対しては「重点指導事務所」に指定し、重点的・集中的な会計指導を徹底に行う

自民党が提案した主な再発防止策と経過(一部)

- 提案1:職員自らの自浄作用が働く仕組みの構築
経過1:特別会計検査チーム(会計Gメン)(※2)の見直し
提案2:不適正経理再発防止のための指導が必要な出先機関を「重点指導事務所」に指定し、重点的・集中的な会計指導を徹底に行う
経過2:実施決定
提案3:(1)現行の計上物品制度(※3)を有効活用しながら、改善していく
(2)行政運営の効率性、アウトソーシングのメリット、費用対効果の課題について、多角的かつ慎重に議論をした上で、今後の方向性を決定する
経過3:物品調達の一元化・外部委託化・物品購買センター(仮称)の見直し
提案4:業者コード(※4)の統一化
経過4:実施決定

特別委員会の中員自らの自浄作用が働く仕組みを構築するよう強く、我々は再発主張してききました。(※3)現行の計上物品制度

の不正が横行していたことが各部署で発覚した。

そして、全ての費目を調査対象とした結果、さらに1866件、2億8387万円余の不適正経理が明らかになったのです。

委員会の中で、職員監視を強化するのではなく、職員の不正が横行していたことが各部署で発覚した。(※2)特別会計検査チーム(会計Gメン)財務・会計分野に専門的知識を有している外部の有る。今回は、そもそも、その購入内容が虚偽であるため、県所有の備品であるにもかかわらず、管理台帳に登載されないため、適切な管理もされていなかった事が判明した。(※4)業者コード

初の分割質問

「緊張感ある」と評価



県議会は17日の代表質問、分割質問方式を導入し、質問者席から質問などをする鈴木氏(中央)と、質問者を務めた小川氏(右)。

「集中してやることがある」「以上でいいと思う」「集中してやることがある」などの声が上がった。

神奈川県議会初めての分割質問
神奈川新聞2.18

県議会の代表質問と一般質問はこれまで一括質問方式を採用、議論の活性化とともに、傍聴者に分かりやすくすることを旨とし、今回の定例会から分割方式も選択できるようルールを変更した。一番手となった鈴木恒夫氏(自民)と、続く田中幸氏(民主)はそれぞれ質問を5分割。その都度、知事から答弁を受けた。鈴木氏は「項目ごとに答弁され、すぐに再質問できるので、今まで以上にやりがいがある。聞いている方も分かりやすく、答弁する側にも緊張感が出ていると思う」と新方式を評価。

Official document titled '鈴木恒夫 発言通告書' (Statement Notice) from the Liberal Democratic Party of Kanagawa Prefecture. It lists various topics for discussion, including budget items, personnel management, and administrative procedures, with columns for the speaker and the responsible official.

Public notice titled '賛助会員(個人)募集のお知らせ' (Notice of Recruitment for Individual Supporters). It provides information on how to become a supporter, including membership fees (3,000 yen for annual, 10,000 yen for special annual) and donation details (bank account: 横浜銀行 藤沢支店 普通預金, account number: 611-1205327). It is signed by the representative, Ritsuko Suzuki.